

今、残さなければ。

▶地震の強い揺れで
倒れ、割れた猿
田彦石碑
(飯田)

▼強い揺れにより、
屋根の重さを支
えきれずつぶれ
てしまった灰塚
観音堂(下寺中灰
塚)

しています。

建築物の改修や、文化財の
復元・保存と、問題は山積
しています。

た大変重要なものです。

えの人たちの想いや町の記憶が込められ

切に受け継いできたというだけではなく、いにし

も倒壊・破損しており、震災が残した爪痕は今も広がりを見

町の歴史的建築物も大きな被害を受けています。また、建築物
のほか、その中に収蔵されていた像や敷地内に建立されていた碑など

懸念される

復元と保存

深刻な震災による被害

文化財を残す



歴史の“証人”を救え！

文化財レスキューが立ち上がる

損壊家屋の解体が急ピッチで行われ、町並
みがどんどん様変わりしている中、貴重な建
築物や、そこに眠る古文書、道具などが、解体
とともにごみとして処分され、失われていっ
ているのが現状です。

そうした時、町内の有志が立ち上がり、「益
城の歴史遺産を守る会(宮本睦士会長)を結
成しました。この会は、解体前に、古い建物
の現状を調査、記録するとともに、所有者だ
けでは対処が難しい蔵や屋根裏の道具類、古
文書の整理・保管などを手助けする「文化財レ
スキュー」を行うことで、町の貴重な歴史遺産
を守る活動を行っています。その活動には、
危険な箇所や、壊れやすいものもあり、慎重
な作業が求められます。



▲蔵から救出された壺やかめ。壊れやすい
ため、慎重な作業が求められる。



❶ガレキと混同されないようテープを張る会員❷矢嶋家の
墓地で作業するようす❸専門家と共に貴重な建築物を
細部まで調査する

